# 読書感想文部門

## 総評

今年は、高学年が入賞作品の上位を占め、作文部門とは対照的でした。

「自分の生活」に結びつけた作品が多く見られましたが、本の内容からかけはなれないように注意したいものです。その本について知らない人が、内容を理解できるように書くとよいでしょう。また、ただあらすじをまとめるのではなく、自分の感想を率直に表現することが大切です。

読書感想文は「本選び」から始まります。みなさんがすてきな本と出会うことを期待しています。

## 最優秀賞受賞作品

### 永遠に……ジョニー

「ジョニーは戦場へ行った」を読んで

大阪教育大学附属天王寺中学校
三年　尾藤　康行

ジョニーは戦場へ行った。どこかの誰かが彼の肩をたたき、「来いよ、戦争へ行こうぜ」と言ったからだ。だから、彼は戦場へ行った。「自由のために戦うんだ」と誰かが言った。だから彼は銃を握った。他の誰もがそうするように、極当たり前に、彼は銃を握った。愛するカリーンを思い、愛する家族を思い……、そして、彼は吹っ飛ばされた。他の多くの人がそうなるように、極当たり前に、彼は吹っ飛ばされたのだ。

私達は普通、生命というものをとても大切に思っている。自分の生命を大切に思い、人の生命を大切に思っている。だから私達は自分が年老いてやがては死ぬことを思うとぞっとし、母親が病気になると一生懸命に看病をし、友人が死ぬと生前の友人を思って涙を流すのだ。そういったことは特別なことではないけれども、とても大切なことなのだ。人が、かけがえのない生命を、本当にかけがえなく思っていることの証であり、そうあらねばならないことなのだ。

しかし戦争は違う。戦場ではそういった大切なことが全て覆される。銃火を浴びたドイツ兵はフェンスにひっかかったままで腐り、若いイギリス兵は腕を切り裂かれて気が狂ってしまった。そして黒光りする高火力の爆弾は、何のためらいもなくジョニーを吹っ飛ばした。無惨な姿のジョニーを見た医者は、何の感慨も湧かぬまま彼の両腕両脚を切り落とし、目、耳、鼻、口をそぎ落とした。医者は言う。「……おいみんな、こいつはいい材料になるぜ。どこまでやれるかともかくやってみようじゃないか……足指がやられてるぞ。やあ手首の関節までもとどいている。なんてこった、いっそ臀部から切断しよう……」

戦争は恐ろしい。多くの人々が死に、負傷し、多くの不幸が生まれる。だがそれだけではない。戦争は人間を変えてしまう。人間から人間の心を奪って、獣にしてしまう。そこにはあまりにも多くの死があるために、人々は生命の尊さを忘れてしまうのだ。兵士は敵に銃を向け、刃を向け、殺す。殺す。医者さえもが負傷兵を自分達の手術の材料として考えるようになる。そして彼らは敵の弾が自分の腹に当たった時、やっと気付くのだ、生命の尊さに。束の間、彼らは愛する人々の顔を、生まれ故郷を思い、そして死んでいくのだ。悲しみ、むせび泣きながら死んでいくのだ。ただ一つのことを念じながら。

生きたい、生きたい、生きていたい……。

偉大な指導者は、自由のため、民主主義のため、礼節のためにと戦争を始め、多くの兵士を戦場へ送り出す。そして戦死した者達を「名誉の戦死」とたたえるのだ。しかし、戦い、死んでいった者の中で、満足しながら死んでいった者が一人でもいるだろうか。なぜ自分が死なねばならなかったのかをはっきりと認識し、名誉に思いながら死んでいった者が一人でもいたのだろうか。

そんな者は一人もいない。彼らは自由も民主主義も礼節も得ずに、その何たるかも分からずに、ただ生きたいと願って死んでいったのだ。なぜなら死は無であり、全てを失うことであるからだ。しかし死者にそれを叫ぶ力はない。だから指導者達は、死んでいった彼らの胸に金の勲章を置き、「良かったね、君は名誉の戦死を遂げたのだよ」と言うのだ。

ジョニーは死者であり、生者であった。彼は肉体の全てを失い、そのために世界中の何もかもを失ったが、彼には頭脳が残されていた。やっとのことで、外界との通信手段を得た、死者の言葉を話す生者。しかし医者は愚かにも彼を拒み、彼を黙らせようと麻酔注射を打ってしまう。

そうだ、それは愚かな行為なのだ。私達は彼の言葉に耳を傾けなければならない。必死の思いで孤独から脱け出そうとしている彼の言葉に。そして私達の知らない大切な、とても大切なことを彼から学びとらなければならないのだ。

人間の歴史を振り返ってみると、いつの時代も戦争は絶えない。そして「戦争反対」が大きく叫ばれ、「平和」と言われる現在も、世界のどこかで戦争が行われており、絶大な量の破壊力を持つ兵器、人の生命と心とを奪っていく「人殺しの道具」が存在している。だから私達は知らなければならない。ここに男がいる、人々へ語りかけ、常に語りかけを忘れない男がいることを。戦争を知らない私達は彼の声を聞き、彼の姿を見ることで大切なことを学んでいくのだ。生命の尊さを、戦争の無意味さを、平和のすばらしさを。そして私達は平和に満ちた美しい未来を築いていかなければならない。

何年か、何十年かして、世界から戦争の恐怖が消え去った時にも、ジョニーは人々に語りかけているだろう。世界の平和を永遠に保っていかなければならないことを。永遠に。永遠に……ジョニー。

**選評**

戦争の無意味さが、作品を読む人の心をゆさぶります。文章のまとまりもよく、中学生らしい作品です。

■佳作

「ぼくのあさがお」(愛知・愛宕小一年) おちあいたつや・やまもとやすひろ「どんな形ができるかな」(愛知・愛宕小二年) 高橋のぶかず・宮碕ますみ「わたしってふつうかな?」(愛知・愛宕小三年) 大竹美沙・鈴木広子「愛徳学園小学校3年生33人に聞きました」(兵庫・愛徳学園小三年) 山縣恭子「商店街を通る人とお店に来る人の関係」(東京・開進第三小四年) 秋山優喜「ふみきり一時停止の様子について」(宮城・川渡小五年) 高橋佳名「音の反比例」(愛知教育大学附属岡崎小六年) 深見綾子「魔方陣の研究」(東京・宮前中三年) 佐々木洋・鴨志田知史・中村潤・永田豪「華麗なるあみだ」(東京・宮前中三年) 佐藤敦・上田英治・青木禎信・沼知良尋・江口将・尹秀春・運永博史・白木康範・田中康二郎「この世の終わり」という物語 (東京・宮前中三年) 稲次実樹・吉仲直子・小泉由紀子「アミダくじ」(東京・宮前中三年) 斉藤直子・佐藤千賀子

### 理科部門

■優秀賞

「あさがおのひみつ」 (岐阜・長良西小一年) 辻　真清
「ぼくの昆虫記」 (宮城・中新田小三年) 鈴木崇洋
「茅ヶ崎で鍾乳石発見」 (神奈川・梅田小五年) 木下紘子

■優良賞

「だんごむしのすきなところ」(愛知教育大学附属岡崎小一年) 市川将寛「ザリガニのけんきゅう」(岐阜・長良西小二年) 中島明日香「花すべりのことならぼくらにおまかせ」(高知・高須小四年) 山本貴之・脇口宏之「白川の水のPH値測定」(京都・錦林小六年) 西田温子「ふるさとの川を調べて」(山口・大井小六年) 山本和歌子「かたつむりの粘液と行動」(茨城・並木中一年) 森智子

■佳作

「かたつむり」(千葉・鴨川小一年) 千葉亜希子「にっきとつゆくさのかんさつ」(東京・聖徳学園小一年) 桜庭俊「むしさがしにつき」(岐阜・長良西小一年) いわたまさひこ「夏休みの天気しらべ」(岐阜・長良西小二年) 服部貴普「大きくな～れひまわりさん」(鹿児島・奄美小二年) 久留直美「アリジゴクの観察」(愛知教育大学附属岡崎小四年) 市川ヒロ子「アメリカザリガニの育児のうの観察」(神奈川・室田小五年) 実川拓「野鳥観察」(群馬・境野小六年) 新井淳子・正和大徳・塚田和男・丸橋知巳・永来政豊・北川景子・高草木ゆみ・西村智子「スピーカーを作っての実験」(東京・国学院大学久我山中一年) 前田博文「草花の色素を調べる」(茨城・並木中二年) 飯田俊一・片岡秀二郎

### 図画・絵画部門

■最優秀賞

「大造じいさんとがん」 (群馬・境野小六年) 高草木ゆみ

■優秀賞

「ひまわり」 (青森・梅泉小二年) 石黒大登
「顕微鏡をのぞく友達」 (埼玉・牛子小四年) 大野高幸
「法光寺」 (埼玉・小室小六年) 葛西恵子

■優良賞

「うみ」(埼玉・小室小一年) 齊藤幸代「花とぼく」(長崎・南大浦小三年) 松原将「マリア園」(長崎・南大浦小五年) 石橋愛「建ちく現場」(北海道・明倫中一年) 赤塚弘樹「脱穀」(青森・第一中二年) 金村貴賀子

■佳作

「ししゃくとぼく」(青森・吹上小一年) 小林竜士「すいぞくかん」(埼玉・小室小一年) 齋藤敦「校庭」(青森・梅泉小二年) 佐藤暢郎「友だちといっしょに」(宮城・古川第二小三年) 川村真弓「お話の絵」(長崎・南大浦小三年) 石川宣子「しおひがり」(奈良・笠間小四年) 久保由加里「コーヒーの時間」(広島・昭和中央小四年) 杉本美砂「原爆ドーム」(広島・昭和北小五年) 西村圭司「橋のある風景」(宮城・中新田小六年) 大村哲「家のベランダから見える学校」(兵庫・浜山小六年) 赤間紀子

### 技術・家庭科部門

■最優秀賞

「カレーライス探検隊」 (東京・聖徳学園小三年) 野瀬朗満

■優秀賞

「わし作りをしてみました」 (岐阜・長良西小二年) 海老名ひと美
「布で作る絵本名人」 (岐阜・春日小六年) 藤田恵美
「布の性質を生かしたパジャマ」 (岐阜・境川中二年) 安部奈津子

■優良賞

「レース編み」(岐阜・長良西小六年) 岩崎香奈「春日小の思い出」(岐阜・春日小六年) 川村智香「手芸名人になろう」(岐阜・春日小六年) 藤原葉子「ヨーヨーキルトののれん」(岐阜・境川中二年) 堀川奈美

■佳作

「どうぶつ」(兵庫・浜山小一年) 森川大和「ゆでたまごのけんきゅう」(兵庫・愛徳学園小二年) 太田絵美「クッション」(岐阜・長良西小二年) 海老谷美希「メロディー笛をつくる」(愛知教育大学附属岡崎小四年) 臼井智史「果物」(東京・糀谷小四年) 鳥海朱美「家庭のよごれのしみぬき」(愛知教育大学附属岡崎小六年) 澤田由美子「サランラップの研究」(岐阜・境川中一年) 日比野智子「人は本当に10日間でやせるのか」(岐阜・境川中三年) 華井京子「昔の生活」(岐阜・境川中三年) 近藤洋代・森脇祐子・細川恵美「卵について」(岐阜・境川中三年) 馬場綾子

### 文部大臣奨励賞

「メダカの生活となわばりの研究」(福井大学教附属小六年) 平井亜紀

### 後援団体会長賞

■日本児童文芸家協会会長賞

「わたしのおじいちゃん」 (東京・余丁町小二年) 茂木有理子